

# 広報 まき

1987  
12/10

第521号

発行/新潟県巻町 編集/企画課 ☎72-3131 毎月2回 10日・25日発行

町内の三軒の酒造会社

で十月下旬から始まった

新酒の仕込みは今年が最盛

期。仕込みは、初添、隔

り、仲添、留添という段

階を踏んで、とんとん熱

成します。アルコール発

酵が進むにつれて、泡が

表面を包みよじ香りも。

新酒の仕込みは早稲の

アミロpectinが原因です。

新酒の仕込みが最盛期

人回 29,465(+5)  
男 14,354(+3)  
女 15,111(+2)  
世帯数 7,734(-2)

10月31日現在


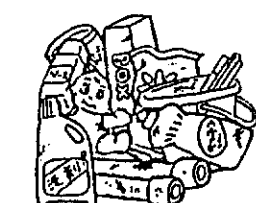

( ) 内は9月末比

す。検査項目も増えて機械類も増え、人員配置も難しいため広い場所でないといふ理由にすぎません。浜地区では四ツ郷屋から五ヶ浜まで一か所です。四ツ郷屋には送迎バスが二往復し不便にならないように努めています。四ツ郷屋で一会場は難しいので、今までの方法に協力ください。

**浦浜青少年研修の家、最小限整備で**

浦浜青少年力発電所に関する墓地裁判で町の勝訴が決まったが、今後どう展開するかと考えているのか。勝訴だといえ、現在の巻原発計画がすぐ動く情勢だとは思えません。墓石の問題や民有地未買収の問題などが残っているからです。浦浜青少年研修の家を来年以降も開設してほしい。

この施設は七、八月だけ青少年社会教育団体に利用されていますが、旧浦浜小中学校の校舎を利用しており老朽化が進み、防火設備の不備欠陥、建築基準法上の不備、飲料水の不適などが指摘されています。整備には一千二百万円以上かかり投資効果はあまり大きくありません。しかし、この利用によって夏期の海水浴シーズンの地元活性化につながりますので、最小限の整備で今後も利用できるか慎重に検討します。

<p>(危険物)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●スプレー缶は底に穴をあけ、ガスを抜く。</li> <li>●鉄筋くず(工事等に使用したもの)は出さない。</li> <li>●工具類で不用になったものは、直接清掃工場へ持っていく。</li> <li>●空びん、缶は水でよく洗う。</li> <li>●乾電池は決められた場所に出す。</li> </ul>	<p>(廃プラスチック類)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●燃えるごみ、危険物を混ぜない。</li> <li>●スーパーなどの買い物袋等に入れて出す(ダンボール、紙袋、布袋は駄目)。</li> <li>●中に針金がいっているビニール線等は危険物として出す。</li> <li>●農業用ビニールは出さない。</li> <li>●紙おむつは燃えるごみに入れて出す。</li> </ul>	<p>(燃えるごみ)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●水分をよくきって出す。</li> <li>●木の枝等は40cm程度に切って出す。</li> <li>●危険物や廃プラスチックを混ぜない。</li> <li>●布団などはできるだけ小さく切って出す。</li> <li>●決められた収集日以外には、ステーションに出さない。</li> </ul> <p>町では家庭から出るごみを次の四種類に分別収集しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①燃えるごみ(生ごみ、紙等)</li> <li>②燃えないごみ</li> <li>③廃プラスチック類</li> <li>④危険物(缶、びん、ガラス等)</li> </ol> <p>①粗大ごみ(電気製品、家具など)それぞれ処分する方法が違います。年末年始にかけてごみ量も増えますし、ごみ収集、清掃工場、一般</p>
--	---	---

**収集場所の除雪を**

●ごみ収集場所の除雪は各区・部

**廃プラ処理施設、火葬場の新・増設完成**

巻町外三ヶ町村衛生組合で行った、廃プラスチック減容処理施設(写真右)建設と火葬場「妙有院(写真左)」の増設工事が完成しました。

廃プラ減容処理施設は九千万円をかけ、年々増加するプラスチック類の廃棄物を二十分の一から十分の一に固めます。

▲12月から、岩室村・西川町・湯東村との広域施設に。合室、炉室を増設しました。一億四千八百万円をかけて今までの建物を最大限利用し、新旧一体感をもちました。両施設とも年金還元融資を受けました。

▲年間900トンの廃プラを処理。

▲100年以上たった教室もある松小校舎。分館、関係課とも協議する必要があります。松野尾小学校を早く改築してほしい。

▲現在、松野尾単独整備か、越前小との統合整備かについて、学校施設整備審議会が発足し審議中です。

**基本健康診査、いままですの会場**

松野尾尾集落センターを増築できないのか。

▲同センターは五十三年度に、一千六百万円余を投じて(うち四百五十万円は県補助)できました。増築はできませんが、県に模様替屋を出す義務があります。また、増築部分の工事に補助金はつきませんので町や地元負担になります。

▲四ツ郷屋では基本健康診査(総合検診)を越前小で受けている。遠くで大変なので地元で受けさせてほしい。

▲基本健康診査は効率よくするために各地区単位(小学校単位)で会場を設けて実施しています。会場から一・五キロ以上離れた地区にはマイクロバスで送迎していただきます。

▲積雪時のくみ取りは困難です。早めに済ませておいてください。

▲状況に応じて収集場所を変更することもあります。

▲大雪で収集車が動けないときはポリ袋などを利用して、一時自宅保管してください。

▲落の班ごとにお願います。

町の数字一口メモ 69万通 今年、町内に配達された年賀状の枚数。町内から出されたのは53万通。

市政懇談会



▲簡裁庁舎(昭和25年12月完成)。

**旧浄水場跡地は遊園地を計画**

十三区の旧浄水場跡地の利用計画は、

▲約八千平方メートルの跡地のうち、事務室は今年四月から、心身に障害を持つ若い人たちの作業訓練所「葵っ子ホーム」として使われています。いずれは全敷地を町民が親しめるような遊園地として開放する考えです。建物を全部解体、撤去して、さら地にするのは考えていませんが、ろ過池や沈殿池のような危険なものは壊さなければなりません。できるところから解体していく予定です。

▲上水道原水の送水管を埋めた後の道路は全面舗装をしてほしい。

▲原水送水管の大部分は市街地の

**用地提供あれば防火水槽も造れる**

▲葉書場では冬場の用水がないので、防火水槽を造ってほしい。

▲現在、同地区には消火栓が五か所あり、水圧も二・五〜三・五以上で、水量も毎分三百五十〜五百リットルです。

地なので財政面、利用面などの将来計画を内部で検討しているところで、

**住みよい町づくり**

**に要望さまざま**

**来年度予算に反映**

外側を通っています。その道路を全面舗装することは今のところ考えていません。

▲一区の巻簡易裁判所が廃止になるが、跡地はどうなるのか。

▲新潟地方裁判所から、来年四月三十日まで巻簡易裁判所を廃止し、それ以降は新潟簡易裁判所に編入するとの連絡がありました。併せて国有地である跡地の処分についての話も町にきています。広い土

**松小改築は協議中**

▲峰岡地区公民館の予算には管理費が計上してあるが、事業費がない。活動を活発にするために、地区館独自の事業費を考えてほしい。

▲公民館の事業費は本館、地区館とも一括して教育費のなかの社会教育総務費というところで見たいです。本館、地区館ごとに分けるものと考えています。

**漆小プールは8月**

**体育館は12月完成**

▲漆山小学校の跡地をどうするか。▲現在、跡地を含めた付近一帯の開発計画について地区民と話し合

十二月一日、役場で町政懇談会が開かれました。町民の皆さんの要望をつかみ、新年度予算に採り入れるのが目的。要望や質問を託された区長さんに、町長と担当課長が町の考え方を説明しました。厳しい財政の下、すべての要望に一度でこたえることはできません。しかし、できるものから消化していきます。懇談会での主なものを紹介します。



▲100年以上たった教室もある松小校舎。

消火には十分役立ちます。防火水槽については地区で用地を提供できるというのなら考えてみたいと思います。

▲松野尾尾集落センターを増築できないのか。

▲同センターは五十三年度に、一千六百万円余を投じて(うち四百五十万円は県補助)できました。増築はできませんが、県に模様替屋を出す義務があります。また、増築部分の工事に補助金はつきませんので町や地元負担になります。

▲四ツ郷屋では基本健康診査(総合検診)を越前小で受けている。遠くで大変なので地元で受けさせてほしい。

▲基本健康診査は効率よくするために各地区単位(小学校単位)で会場を設けて実施しています。会場から一・五キロ以上離れた地区にはマイクロバスで送迎していただきます。

▲積雪時のくみ取りは困難です。早めに済ませておいてください。

▲状況に応じて収集場所を変更することもあります。

▲大雪で収集車が動けないときはポリ袋などを利用して、一時自宅保管してください。

▲落の班ごとにお願います。

町の数字一口メモ 69万通 今年、町内に配達された年賀状の枚数。町内から出されたのは53万通。

**県ジュニア美術展入賞者**

優秀賞 (絵画) ○小二：渡辺拓郎 (巻北) ○小六：川見力 (越前) (デザイン) ○小六：高橋潤子 (巻北)

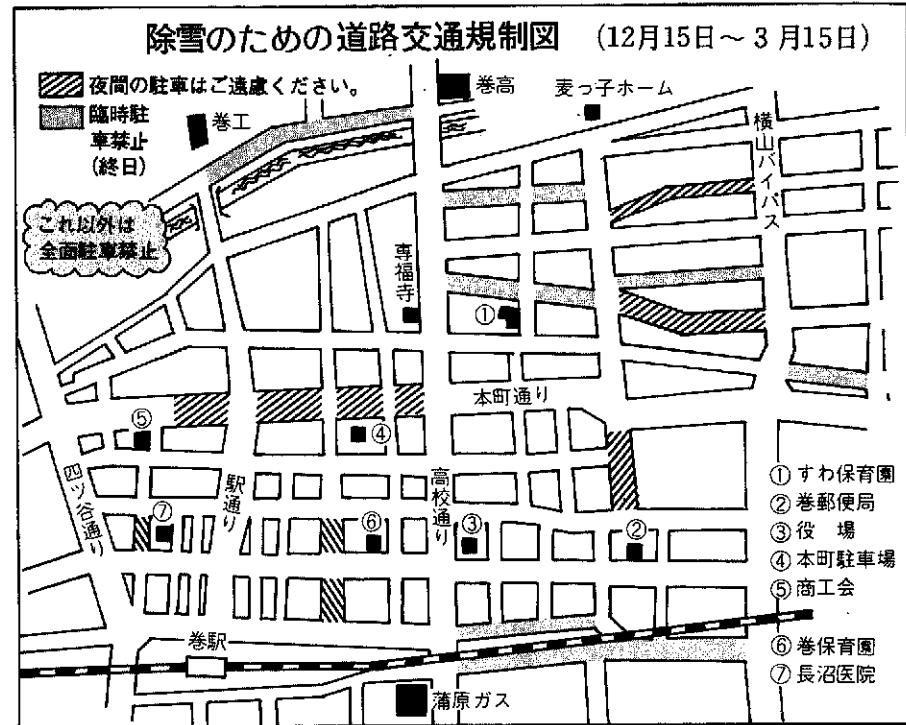
奨励賞 (版画) ○小一：齋藤竜太 (松野尾) ○小四：齋藤美緒子 (越前) (絵画) ○小一：齋藤竜

大 (松野尾) 加藤由歌 (巻南) ○小二：佐藤文彦 (巻北) ○小三丸山順、河合真美 (以上巻南) 若杉直子、佐藤景 (以上巻北) ○小五：高橋えり子、島津幸子、遠藤亜希子、伴智子、野島奈央 (以上巻南) 大橋晴行 (巻北) ○小六：林紀幸 (漆山) 平岡秀子、小川俊幸 (以上巻北) 石田清美 (巻南)

図書

**寄贈**

袖山ムツ子さん (四区) 「花と花輪」ほか十一冊。 どうもありがとうございました。



**異常はすぐに通報を**

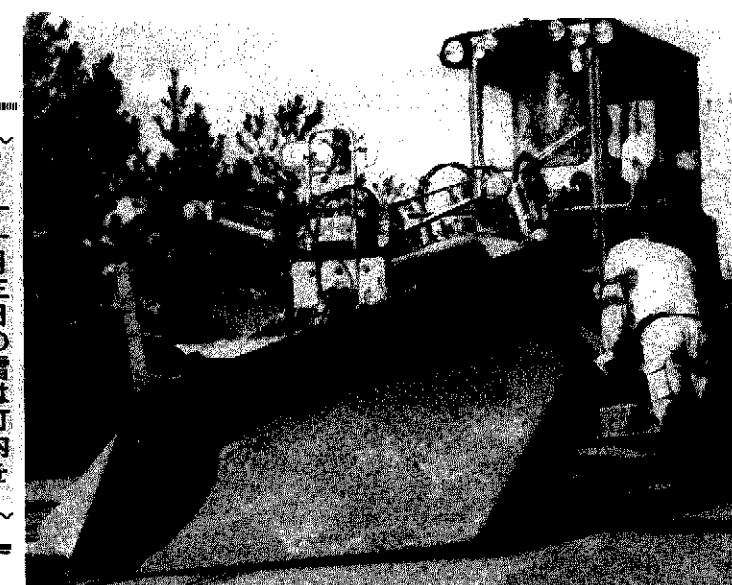
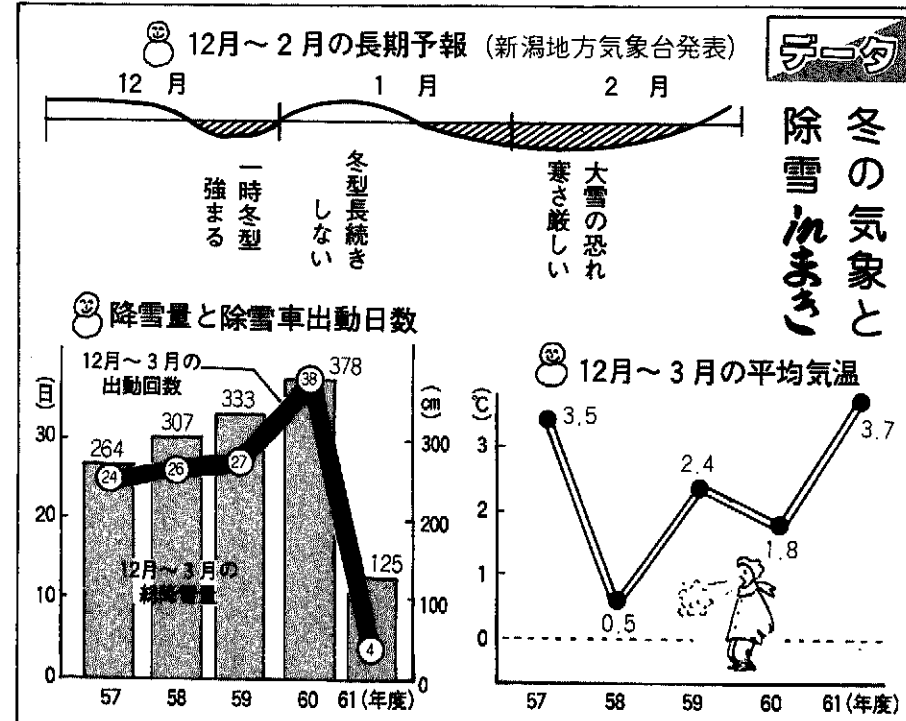
電気 東北電力(株)巻営業所 (十区) ☎2161  
電話 NTT巻電報電話局故障受付 (十区) ☎113  
ガス 蒲原ガス(株) (東六区) ☎3337  
水道 水道課 (鷲ノ木) ☎2164  
消防 巻・渦東消防署 (前田) ☎3309 (緊急119)

**工業に関する統計調査**

- 工業統計甲、乙、丙調査
- 石油等消費構造統計調査
- 工業実態基本調査
- 県地場中小工業統計調査

12月31日現在で実施  
〈全製造事業所が対象〉

「協力お願いします。」



**冬將軍に負けない**

効率よい除雪体制に力を貸して

十一月三日の雪は町内を真白な世界に変えてしまいました。暖冬だった昨冬の降雪量はその前年の三分の一、除雪回数は九分の一。今冬はうって変わって厳しくなりそうです。特に新潟地方気象台の長期予報では一月半ばから二月後半まで大雪の恐れがあるとのこと。町では、今年も通勤、通学の足を確保するために除雪に全力をあげます。円滑に作業を進めるために皆さんの協力、お願いします。

**市街地交通規制が変更**

除雪のめどは積雪が十五～二十センチになった時。昨年は四日だけでしたが、毎年平均二十五日以上の出動があります。今年の除雪対象道路は昨年より十％増えて約二百十キロになりました。交通量が少なくなる深夜から翌朝まで、夜を徹して作業。皆さんの生活に不便が生じないようにします。しかし、早朝のドカ雪や、路上駐車が除雪の妨げになった場合は作業が遅れてしまうこともあります。

**雪下ろしは注意して**

○防火水槽や消火に利用する用・排水路に雪を捨てないでください。○道路に張り出した木の枝が雪の重みで折れると通行人がけがをしたり、交通の邪魔になったりします。所有者は早めに枝を切ってください。また、除雪に支障のないように垣根やへいを修理してください。○雪下ろしをするときは、電線、電話線、ガスの排気筒、ガスメー

冬期間の市街地交通規制が、昨年までと変わりました。五ページ上の地図を注意してください。本町通りなど斜線の部分は夜間の駐車を自棄していただきたくないと思います。他は全面駐車禁止です。自転車、ごみ箱、ドラム缶なども道路に置かないでください。

**出入り口は各自で除雪**

除雪車の通れない細い道や家の出入り口はきれいにできません。また、除雪車が通り出入り口をふさぐこともあります。申し訳ありませんが各自で道路を確保してください。また、除雪車の通過後に雪を道路に出さないでください。町で決めた雪捨て場所は次の三か所です。奥から順に捨ててください。

巻地区：愛宕神社敷地、六間口堤防敷 漆山地区：八幡神社敷地

「巻は冬に限らず路上駐車に非常に多い町」と巻署の話。結局はドライバーのモラルの問題。取り締まっても減りませんね。肩身が狭くなりますか？」

「巻は冬に限らず路上駐車に非常に多い町」と巻署の話。結局はドライバーのモラルの問題。取り締まっても減りませんね。肩身が狭くなりますか？」

毎年毎年、しつこいほどお願いしても一向に改善されないのが路上駐車。ほんのわずかな人の不注意が大きな迷惑を生みます。除雪車を運転する原田恒政さん(五十三歳、十二区)の嘆き。

「路上駐車が一番困ります。夜の作業で雪が多いときは車かどうがよく分かりません。また、かき分けた雪の固まりが車に傷をつけないように、神経を使ってゆっくりに進みます。かき分けた雪は道路の両側に寄せてもらいたいです。雪が寄らずに進めなくなり。また、狭い道では追い越せないで大回りして逆から小路にはいらないければなりません。市街地では通勤時間までに除雪を終わらなければいけないので、大きな時間のロスがあると、残りの除雪が大変。もし、その車を避けていくと、おれの所だけ雪のけしがない」

**仕事**

「巻は冬に限らず路上駐車に非常に多い町」と巻署の話。結局はドライバーのモラルの問題。取り締まっても減りませんね。肩身が狭くなりますか？」





▲練習中の巻高ラガーマン。視線のあなたは花園。



# 今年こそ「3年生の闘志が果制す」

校部 巻高ラグビー部

十一月二十一日、新潟市陸上競技場で行われた第六十七回全国高校ラグビー大会県予選決勝で、巻高が新潟工を13-0と降し、近鉄花園ラグビー場(東大阪市)で開かれる全国大会への切符を手に入れました。レギュラーの十五人の中には高下雅彦(赤館)、早見正明(十三区)、瀬戸弘、青木健(以上七区)、小林聡(東町)の五人の町出身選手が含まれています。巻高ラグビー部は昭和三十四年

創部。三十七年と三十八年にはこの県大会で優勝したものの、花園へ行くには関東甲信越大会で勝たなければならず、二回とも熊谷商工(埼玉)に敗れ、夢を絶たれています(39-0、46-0)。それ以後は毎年上位進出ながら新潟工、新潟高に阻まれ続けました。新潟商を率いて花園出場経験のある山田栄一現監督の指導を受け、NHK杯や県総体で優勝できるようになったのは五十八年から。し

かし、三年生主力の強豪チームに對して、新チームで戦う巻高の力は及ばず、この大会だけは勝てませんでした。今年も六月に北信越総体を制した後、十三人の三年生のうち八人が引退。しかし、九月NHK杯に優勝すると、八人も「今年はいける」と自発的に復帰練習、試合とも闘志を燃やし快挙をなし遂げたのです。「今年のチームは何とかなると思った。重量フォワードができたし、ハーフ陣も全国レベル。全国大会は当たって砕けるですよ」と山田監督。一回戦は和歌山工(四年連続七回目)に決定。公式戦無敗の巻高ラガーマン。キックオフ

## 力を出しきる



瀬戸 弘 君 (3年、7区)

「ノーサイド(試合終了)の笛を聞いたときはジーンとききました。花園を目指して夏休みも返上して頑張ったので感激もひとしおです。やったんだという実感で一杯です。全国大会では何回戦突破という具体的な目標よりも、自分たちの力を全部出すことに全力を注ぎたいです。トライもしたいけど、チームプレーに徹します」

## 思わず握手、万歳



山田 忠重 さん (OB 36歳、7区)

「決勝戦は気が気でなく陸上競技場に駆けつけました。勝った瞬間他のOBと思わず握手、万歳でした。悲願達成ですからね。自分のことのようにうれしいです。私のおときは(昭和四十四年)決勝で新潟工に敗れましたね。まだラグビーは人気もなくテレビ中継もなかった。隔世の感があります。花園へは時間があれば是非行きたい」

## うぶごえ

(10月21日～11月20日届出)

名	前	出生年月日	保護者	区	分
渡吉	梨沙	10.11	一也	大	原
石橋	沙寛	10.12	昌弘	5	区
山本	寛広	10.14	保夫	12	区
田部	照早	10.14	恵美	7	区
阿志	弥	10.17	一雄	11	地
志浦	裕美	10.17	充	堀	山
小中	昌香	10.19	昌昭	漆	山
平野	香	10.19	勝也	新	6
石野	香	10.20	栄一	3	の
樋高	香	10.23	良夫	1	区
樋大	香	10.26	慶一	13	区
長谷	香	10.30	一彦	3	区
森田	香	10.31	誠	竹	野
笹市	香	10.31	海	仁	野
林橋	香	11. 2	夫	峰	野
浅田	香	11. 3	夫	峰	野
梨本	香	11. 4	一	新	山
細山	香	11. 4	男	漆	4
佐藤	香	11. 5	二	8	の
高大	香	11. 5	彦	7	区
丸阿	香	11. 5	八	角	区
榎田	香	11. 5	廣	四	区
椿田	香	11. 6	典	松	区
田邊	香	11. 6	己	13	区
沢	香	11. 6	夫	3	区
	香	11. 7	夫	馬	組
	香	11. 9	夫	堀	下
	香	11.13	夫	河	井

## おくやみ

(10月21日～11月20日届出)

名	前	死亡年月日	年齢	区	分
樋久	キ	10.22	87	漆	山
高保	シ	10.22	71	8	の
高保	孫	10.24	78	四	区
笹小	徳	10.26	71	白	区
野有	一	10.30	78	2	区
乙渡	子	11. 1	59	2	区
永永	男	11. 3	86	10	区
齋長	七	11. 3	31	13	区
有坂	弘	11. 6	78	四	区
	キ	11. 8	36	稻	区
	美	11.11	82	10	区
	セ	11.15	63	馬	区
	ズ	11.18	55	峰	区
	夫	11.19	77	3	区

は十二月二十八日午前十一時です。





# 町民生活カレンダー

①=時間  
 ②=会場  
 ③=対象者  
 ④=参加費  
 ⑤=参照

16~31日

英語でDecember (デセムバー) 月異名一師走 (しわす) 誕生石一トルコ石

冬至：二十四節季の一つ。北半球で昼が最も短く、夜が最も長い日。

16水	●町立病院小児科午後休診	24木	●町立病院小児科午後休診 ●心配ごと相談①10:00~15:00②役場1階相談室 ●3・4か月児健診
17木	●町立病院小児科午後休診 ●心配ごと相談①10:00~15:00②役場1階相談室 ●健康づくり教室③竹野町④9:30~15:00⑤竹野町集落開発センター ●献血⑥10:00~12:00、13:00~15:30⑦役場南口	25金	●クリスマス ●納期限固定資産税第3期 ●消費生活苦情相談①13:30~15:30②役場1階相談室
18金		26土	●映画「あぶない刑事」「七福星」①13:30~、18:30~②文化会館③一般1,100円、中高生900円、小学生700円(当日200円増)
19土		27日	●休日救急当番医〔外科〕町立病院①②3111〔内科〕大越医院③④2707 ●休日営業スタンドフリー営業
20日	●休日救急当番医〔外科〕県立吉田病院①②5111〔内科〕金子医院③④28030 ●休日営業スタンド加藤油店巻、樋口商店巻、田辺石油巻インター、ヨネヤ松野尾、長島石油店巻 ●すまいるクリスマスパーティー⑤14:00~17:00⑥巻町公民館⑦大人400円、学生200円 ●親子映画鑑賞会⑧お知らせ版1P	28月	●官庁御用納め
21月		29火	会計、税務、住民各課の窓口業務は29日、30日、31日の午前中ご利用いただけます。
22火	●冬至	30水	
23水		31木	●大みそか ●休日救急当番医〔外科〕新潟中央病院①025(285)8811〔内科〕刈部医院(西川町)②025

## 町の年末年始業務

●窓口業務とは会計、税務、住民の各課です。

	12 28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1 (金)	2 (土)	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)
役場		午前中 窓口業務									
町立病院											
ごみ収集(可燃・不燃とも)											
鑑湯清掃工場											
衛生センター(し尿処理場)											
一般廃棄物最終処分場(埋立地)											
妙有院(火葬場)											
町営駐車場											

は休業 得雲荘は12月28日から1月4日まで休業

赤ちゃんの健康のために

12月後半の保健事業

◆三、四か月児健診(内科、先股脱検診) 対象 六十二年八、九月生まれの乳児

とき 十二月二十四日(木)午後一時三十分集合

ところ 役場三階大会議室

※母子手帳をお持ちください。

交通事故の相談のります

ところ 新潟市本町通七番町、興垂火災ビル五階 (社)日本損害保険

## 今月の納税

固定資産税 第三期 納期限 十二月二十五日 期限内に納入するようにご協力ください。

協会 新潟自動車保険請求相談センター ☎025(225)1851、2225

とき 平日午前九時三十分から午後四時四十分まで、土曜日(第一、三除く)正午まで 弁護士相談 水曜日午後一時から四時まで 相談は無料で、電話でもOK。

健康づくり標語

まず健康 家から街から 職場から